

JIS

湿度計—試験方法

JIS B 7920 : 2000

(JMIF/JSA)

(2006 確認)

平成 12 年 7 月 20 日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

著作権法により無断での複製、転載等は禁止されております。

まえがき

この規格は、工業標準化法第14条によって準用する第12条第1項の規定に基づき、財団法人日本規格協会(JSA)/社団法人日本計量機器工業連合会(JMIF)から工業標準原案を具して日本工業規格を改正すべきとの申出があり、日本工業標準調査会の審議を経て、通商産業大臣が改正した日本工業規格である。

これによってJIS B 7920：1994は改正され、この規格に置き換えられる。

主 務 大 臣：通商産業大臣 制定：平成 6 . 3 . 1 改正：平成 12 . 7 . 20

官 報 公 示：平成 12 . 7 . 21

原 案 作 成 者：社団法人 日本計量機器工業連合会

(〒 162-0837 東京都新宿区納戸町 25-1 TEL 03-3268-2121)

財団法人 日本規格協会

(〒 107-8440 東京都港区赤坂 4-1-24 TEL 03-5770-1573)

審 議 部 会：日本工業標準調査会 精密機械部会 (部会長 杉浦 賢)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は工業技術院標準部標準業務課 産業基盤標準化推進室 [〒 100-8921 東京都千代田区霞が関 1 丁目 3-1 TEL 03-3501-1511 (代表)] にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

湿度計—試験方法

B 7920 : 2000

Hygrometers—Test method

1. 適用範囲 この規格は、湿度計⁽¹⁾の校正方法及び性能試験方法について規定する。

注⁽¹⁾ センサ単体など、それだけでは湿度計として使用できないものは除く。

2. 引用規格 次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。これらの引用規格は、その最新版(追補を含む。)を適用する。

JIS Z 8103 計測用語

JIS Z 8703 試験場所の標準状態

JIS Z 8806 湿度—測定方法

JIS Z 9325 校正機関及び試験所の能力に関する一般要求事項

備考 ISO/IEC Guide 25 : 1990, General requirements for the competence of calibration and testing laboratoriesが、この規格と一致している。

OIML R 121 : 1996, The scale of relative humidity of air certified against saturated salt solutions

Guide to the expression of uncertainty in measurement (GUM) : 1993 issued by BIPM, IEC, IFCC, ISO, IUPAC, IUPAP and OIML

3. 定義 この規格に用いる主な用語の定義は、JIS Z 8103及びJIS Z 8806によるほか、次による。

a) 試験槽 被試験湿度計の試験を行うために必要な環境条件を実現する槽。

b) 飽和槽 水蒸気で飽和した空気を作り出す槽。

4. 湿度計の種類 湿度計の種類は、次による。

a) 光学式露点計⁽²⁾ (以下、単に露点計ともいう。)

b) 通風乾湿計⁽²⁾

c) 電子式湿度計⁽²⁾

d) 熱伝導率式湿度計⁽²⁾

e) 毛髪湿度計⁽²⁾

f) その他の湿度計⁽³⁾

注⁽²⁾ JIS Z 8806による。

⁽³⁾ 上記湿度計の校正及び試験に準拠した方法を適用できる湿度計。

5. 試験に必要な環境及び設備

5.1 試験場所の環境 試験を行う場所の環境は、次の条件を満たさなければならない。

a) 試験は、JIS Z 8703に定める標準状態の気圧及び常温の室内で行う。湿度及びその他の環境因子⁽⁴⁾については、湿度計及び試験に用いる機器の性能に支障を及ぼさないように措置する。